令和二年度　学校文集【令和三年三月】

ひらやま　その十

※今回は新聞掲載作品です。今、本文集に掲載予定の作品がたくさんあり順次掲載します。しばらくお待ちください。

「社会科見学」

四年　鈴木　海音

中国木材では、たくさんの木をきれいにして作業をしていてすごいなぁと思いながら、見学していました。作業中の音がうるさくて話は、少しか聞こえなかったけど、見学するのは楽しかったです。

次に、じょう水場では、たくさんの水をきれいにしていました。一番楽しかったのは、水をきれいにする薬を使った実験です。

薬を入れたら、ていねいにかきまぜます。しばらくして、かきまぜるのをやめて水を見るとどんどんどろが下にしずんでいったのでとてもすごかったです。

最後に、配水池です。たくさんの水をためていました。配水池の水は消毒されていませんでした。でも配水池の水を消毒すると、とてもきれいな水になると思うので、きれいでおいしい水にかんしゃしたいです。

時間があったら、中国木材、じょう水場、配水池に行って、また、たくさん勉強したいと思いました。

「ごんぎつねを読んで」

四年　戸髙夏海

私は、ごんぎつねを読んで、ごんは最初はいたずらが大好きで、たくさんいたずらをしていたけど、最後には、とてもいいきつねになったなぁと思いました。そして、ごんの日記を毎時間書いて、ごんの気持ちの変化がよく分かりました。ごんは、兵十にしてしまったことを後かいし、兵十もごんを火縄じゅうでうってしまったことを後かいして、二人の気持ちが一緒になっている所で、ごんが兵十にいたずらをしなければ、二人が後かいすることはなかったのになぁと思いました。また、ごんは、後かいして、くりや松たけを持っていったのに、兵十は神様のしわざだと思って、ごんを「どんっ」とうってしまった所で、兵十が最初にかくにんしていたら、ごんをうつことは無かったのになぁと思いました。

このごんぎつねを読んで、人のことを思いやる気持ちができました。

「とても勉強になった工場用水見学」

四年　黒木結菜

まず、中野原浄水場に行く前に、バスの中でＤＶＤを見ました。わたしは、「工場や建物をたてる時には、水や電気を使ってたてられているのかあ。」と心の中でつぶやきました。

そして、中野原浄水場についてから、わたしは、３はんだったので、最初に、しつ問を受けたり、中野原浄水場についてかたってくれました。分かりやすく話してくれたので、いままでより、水を大切にしていきたいという気持ちになりました。

次に、亀崎配水池につく前にクイズを出してくれました。六問中五問正かいがほとんどだったので、じゃんけんで勝った人が、工水くんというキャラのボールペンをもらえるというルールでやりました。私は勝てませんでした。

亀崎配水池についてから、飲める水と飲めない水の両方にえんそが入っているかたしかめる薬を入れました。飲めない水に入れたら、変わらなくて、飲める水は、えんそが入っているからピンク色になりました。

それで、中国木材についたら、高い所にのぼって、下を見回しました。なぜ、「高い所があって、下が見えるようになっているのかなぁ。」とふと思いつきました。

私は、このけいけんをしてみて、水を大切につかわないと、みんながこまることが分かったのでこのことをふり返って、水を大切に使いたいという気持ちに変わりました。

「デザイナーが夢」

六年　宮井　優妃

私はしょうらい、デザイナーになることが夢です。ですが、理由はあまり考えたことがなかったので、考えてみると理由が二つうかびました。

一つ目は、自分のデザインした服でみんなが笑顔になってくれたらうれしいからです。自分がつくった服がお店にならんで、そしてもしその服を買って、着て笑顔になったら、とってもうれしいからです。

二つ目は、自分の親に自分のデザインした服を着せてみたいからです。私は、服のデザインは、ノートに書いたりしたけど、実際に服にえがいたりなどはしたことがないので、もちろん親にも着せたことがありません。なので自分のつくった服を大人になって着せてみたいです。

このような二つの理由がうかんだけど、この理由を本当に実現できるようにしたいです。